

運がいい学校

11月29日（月）の全校集会で、花巻東高校野球部の佐々木監督の話をしました。運がよくなるには4つのポイントがあるという内容でした。もう一度、振り返ってみます。

私はずっと「おまえは運がいい、運がいい」と言われ続けています。「菊池雄星や大谷翔平を獲得（かくとく）できて運がいい」とか「柵ボタで選抜に出て準優勝した」とか言われて、前は「俺だって努力しているんだ」とムツとしていました。

でも最近、運というのは、運をつかむために自らをコントロールしている人のもとにしか来ないんだなと分かって、素直（すなお）に喜べるようになりました。

では自分の何をコントロールしているかという、一つは言葉です。

二つ目は一緒にいる人。親は選べませんが、友人は選べます。あるいは自分の意思で誰にでも会いに行き行って刺激を受けることができるわけです。

三つ目が表情、態度、姿勢、身だしなみ。二つ目にも通じますが、チャラチャラした格好をしている子はやはりそういう友達と一緒にいます。

また野球でも逆転されてシュンとしたり、点を入れて大騒ぎしているチームにはあまり脅威（きょうい）を感じません。逆に負けているときに笑顔でファイティングポーズとかが出るチームって怖（こわ）いなと思います。特に監督が不安になったりすると、一瞬でチーム全体に伝染しますから、表情、態度のコントロールは常に心掛けています。

そして最後は、やっぱり感謝と謙虚（けんきょ）さです。とにかく敵をつくらず、味方をつくるのが運を呼び込んでくると思います。

例えば、うちのチームは宿泊したホテルから帰るときは、すごくきれいに掃除させるんです。甲子園のときもホテルの方が、「花巻東の使った後はベッドメイクが要らないくらいきれいにしてくれた」と喜ばれて、ホテルの人たちが球場までわざわざ応援に来てくれたりしたんです。

菊池と大谷は、例えばゴミが落ちているのを見ると「神様が自分を試している」と思うと話していました。そうやっていつも神様が自分を見ていると思っているんです。

それから私が前にうちの選手たちに、「成功している会社の社長さんの家を探していったら一つだけ共通項があって、どの家もトイレのふたが閉まっていたらしい」と話したら、どこに行ってもふたを閉めてまわっています。

態度が横柄（おうへい）だったり、悪口ばかり言っているチームは、人がどんどん遠ざかっていきます。謙虚にしていると味方が増え、その人たちに感謝の気持ちを伝えると、さらに応援してくれるようになります。

何をやってもツイている人と、何をやっても空回りする人の差は、この四つではないかと思っています。

皆さんにできそうなことは何ですか。みんなで、佐々木監督のお話をもとに、野田中学校を運がいい学校にしていきたいと思います。